

日本ボストン会会報

発行所 日本ボストン会事務局 ㊟227-0045横浜市青葉区若草台8-28 Fax 045-962-0866

日本ボストン会活動について

会長 佐々木 浩二

この11月で2年の会長任期を会員の皆様のお蔭で何とか務めることができ、御礼申し上げます。私の2年間の活動ならびに次期会長、次々期会長についてご報告します。

まず、井口武夫前会長から引継ぎました日本人留学生の記録については、三好彰幹事を中心に精力的に調査研究を進めていただいておりますが、本件については別項でお伝え申し上げます。

さて、話題をこの2年間の活動報告について触れさせていただきます。一昨年の米国の「ボストン日本協会」設立100周年に際して、Mayflower号を描いた記念の絵皿を贈呈、関係団体の名古屋ボストン美術館の会員になり、友人知人も勧誘、音楽の会主催のコンサートやお花見の会に参画、(2005年の浜離宮でのお花見にはMIT本校同窓会の名誉ヴァイス・プレジデントのWilliam Hecht氏が、また、2006年のお花見の会では、ボストンから吉野静子会員他の里帰りされた方々と京都ボストン交流の会会員の方々も参加)、会員増強に努力、ゴルフの会の優勝者には佐々木杯を提供させていただいたことなどがあります。

また本年4月には日本MIT会の役員数名でMITを訪問し、増淵興一先生ご夫妻とは一緒に夕食をしました。MITでは、初の女性総長Susan Hockfield博士のリーダーシップのもと、エネルギー問題および生命科学と工学との関わりに全校挙げて活発な研究活動が展開されております。ボストン滞在中に「ボストン日本人会」の中塚久生副会長とも交流しました。最近では本年6月25日に「京都ボストン交流の会」の総会(55名出席)に参加し、直後に予定されていた祇園祭の魅力、祇園囃子の楽しみと題した講演と、素晴らしい尺八、琴の合奏を堪能しました。引き続き懇親会に参加し、会員の皆さんとの交流を楽しみました。

以上は私が参加できた範囲の活動ですが、この他にも当会会員の皆様が自主的に開催される多くの文化・親睦活動から日本ボストン会は成り立っており、

改めて日本ボストン会自体の活動の広さと関連組織とのつながり、そして歴史の縦糸にしっかりと眼を向けた活動姿勢を思うと、当会の会員であることに幸せを感じています。

ここで次期会長についてお伝えいたします。茂木賢三郎元会長からご紹介をいただいたハーバード・ビジネススクール同窓会会長の鶴正登氏にご就任いただくことになりました。鶴氏は昭和45年住友銀行入行を経て、後に日本オイルシール工業株式会社(現在のNOK株式会社)に入社されました。ハーバード大学経営大学院にて昭和52年MBAを取得され、現在は同社代表取締役会長兼社長で、日本自動車部品工業会会長を兼務されています。鶴氏の奥様は増淵MIT名誉教授奥様の文子さんとお知り合いであったこともつい最近判明しました。

鶴氏の次の会長(2008年11月~)候補に株式会社フェローテック社長の山村章氏をご推薦申し上げます。山村氏からは次々期会長候補をお引いただけのご承諾をいただきました。山村氏は昭和44年ボストンのノースイースタン大学の修士課程を修了されました。ケンブリッジ・サーミオニクス社を経て、フェローフルイディクス社[現フェローテック(USA)]コーポレーションに入社され、日本法人(現株式会社フェローテック)代表取締役社長に就任されました。その後、米国親会社をTOBにより買収し子会社化、現在上記米国法人の最高経営責任者のほか、(中国子会社の)杭州大和熱磁電子有限公司と上海申和熱磁電子有限公司の董事長を兼務されています。三人のお子様の内、お二人はボストン生まれだそうです。

今年の総会において、次期会長、次々期会長の選任をご承認願います。今後はハーバード・ビジネススクール、ボストン大学、ノースイースタン大学、アマースト大学などの同窓生にも日本ボストン会の活動への参加、入会を勧めて行き、活動の輪を広げて行きたいと考えています。